

# 羅針盤

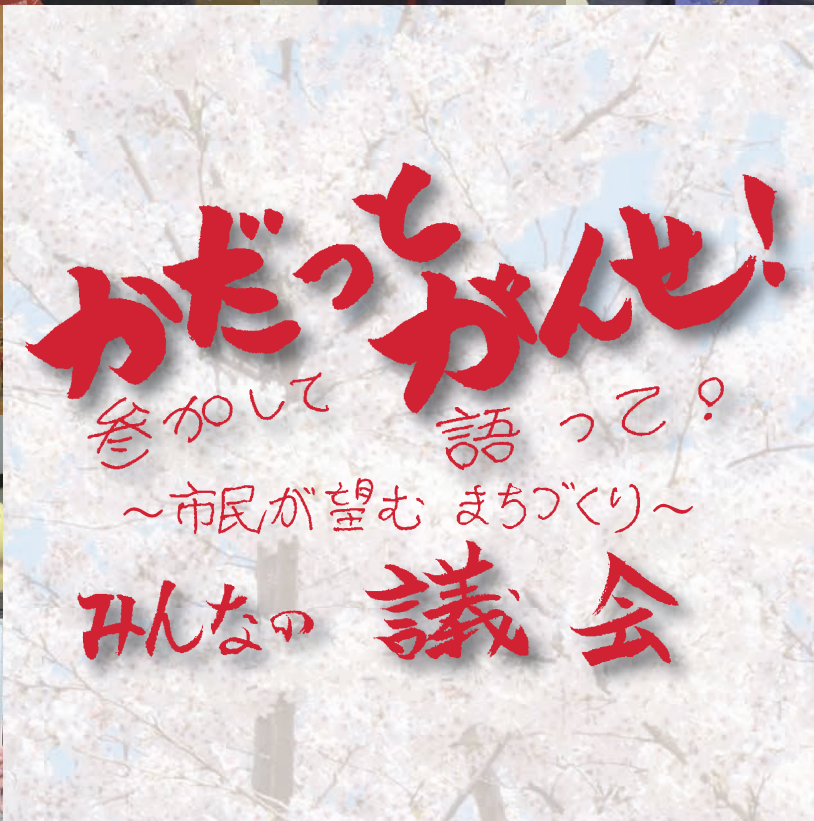
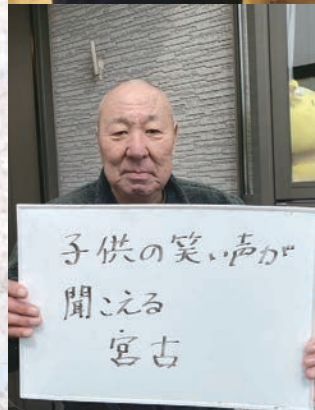
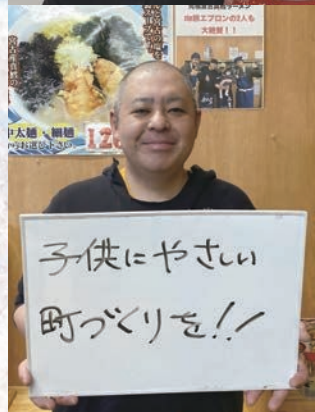
らしんばん

2025

令和7年

3月議会

No.80



## 目次

3月定例会議…2P 予算特別委員会…5P 令和7年度予算審査…6P  
議案審査概要…8P 一般質問…10P 議会トピックス・編集後記…19P

3月  
定例会議令和7年度当初予算など  
66議案を可決3月の定例会議  
2月12日～3月18日  
35日間

|        |     |
|--------|-----|
| 予算     | 24件 |
| 条例     | 16件 |
| 発議案    | 3件  |
| その他の議案 | 23件 |
| 諮問     | 1件  |
| 意見書    | 1件  |
| 選挙     | 1件  |
| 一般質問   | 16人 |

## 宮古市議会3月定例会議で可決された主な条例・議案などの概要

## 66件の議案を審議

令和7年の3月定例会議は、2月12日から3月18日までの35日間の会議日程で行われ、会期中の本会議日数は5日でした。議案の内訳は「令和7年度宮古市一般会計予算」など、当初予算に関するものが13件、「令和6年度宮古市一般会計補正予算」などの補正予算に関するものが11件、「宮古市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部

を改正する条例」などの条例が16件、「宮古市議会議員定数条例の一部を改正する条例」などの発議案が3件、「あらたに生じた土地の確認に関し議決を求めることについて」など、その他の議案が23件でした。また、「人権擁護委員の推薦について」という諮問を答申しました。

## 一般質問は3日間

一般質問は2月26日から

## 令和7年度当初予算

令和7年度一般会計予算は、「学ぶ防災」や新設される「宮古市災害資料伝承館」を生かして、災害関連資料の収集・保存を継続し

事業会計は53億6323万6千円となり、全当初予算の総額は、32億9825万9千円（前年比3.3%減）となります。

## 令和6年度補正予算

令和6年度宮古市一般会計補正予算では様々な事業が執行済みとなり、年度末の精算に合わせて18億6593万9千円の減額となり、令和6年度の一般会計予算総額は398億2794万5千円となりました。

## ○宮古市立学校条例の一部を改正する条例

▼奨学資金の貸付の対象に歯科衛生士を加える条例です。

## を改正する条例

▼令和8年4月1日より宮古市立高浜小学校を廃止し、宮古市立磯鶏小学校に統合する条例です。

## 修正動議の提出

3月定例会議では、「議案第1号 令和7年度宮古市一般会計予算」の議案に対し、修正動議の提出が行われました。概要は次のとおりです。

## ■議案第1号 令和7年度宮古市一般会計予算

## 宮古市一般会計予算

## ▼修正動議 提出者

古館 博 議員

提出された令和7年度宮古市一般会計予算について、過日の予算特別委員会においても述べたが、ジビエ処理加工施設整備事業は、新規事業でありながら初めての具体的な説明が産業建設常任委員会のみで終わっている。委員以外の傍聴している議員は、意見の発言が認められていない。このまま全議員が共通認識を持っていないまま、市民への説明を求められる立場から、事業ありきで進めることは許されない。

また、今後駅前開発など大型事業を控えている状況下と厳しさを増す財政下において、3億5千万円弱に及ぶ事業を考慮し、一旦立ち止まり事業の可否、規模など再検討し、議会への丁寧な説明を求めつつ、本整備工事実施設計業務委託費1300万円を削除する修正案を提出する。



て実施するとして、災害記憶の風化を防ぐ災害伝承事業に3287万円。また、旧キャトル跡地の再開発に向けて、店舗解体工事などを含む、再開発準備事業に3億5652万8千円、長寿命化修繕計画に基づいての橋梁の修繕工事などを含む、道路施設等長寿命化修繕事業に2億9922万円など、総額349億円（前

年比3.6%減）が計上されました。特別会計においては令和7年度宮古市国民健康保険事業勘定特別会計予算が、54億5125万3千円、令和7年度宮古市介護保険事業特別会計予算が62億4863万3千円計上され、特別会計全体は130億3502万3千円となりました。公営企業会計の水道事業会計、下水道

## 可決された条例

3月定例会議で可決された主な条例の一部をお知らせ

修正動議の討論

古館議員が提出した修正動議に対して、原案に賛成者と修正案に賛成者のそれぞれの立場から討論が行われました。

▼修正案に賛成者討論

田中 尚 議員

修正案は一般会計予算総額からジビエ処理加工施設実施設計業務委託費（1300万円）を削除しようとするもので、提出者は施設整備には賛成する考えである。なぜ、修正案なのか、それは自治基本条例（条例）の政策形成手順を欠いているためと理解するからである。条例は政策を具体化する際、要求の根拠、施設の維持・管理費等市民の参画と共同をふまえて、議会との情報共有を原則としている。当初予算は、

この点を欠いており、修正案はそれを是正する内容と理解し、賛成である。

▼原案に賛成者討論

白石 雅一 議員

令和7年度一般会計予算に賛成の立場で討論する。

古館議員は一般質問等で今回のジビエ建設に対し、反対ではなく理解を深めるための質問をしており、賛成の立場は崩していないと考える。

議会への説明不足という点だが、資料はタブレットで配信され、委員

会も傍聴できる。

また令和5年2月に鳥獣対策として産業建設常任委員会では提言をまとめ、市も令和4年度宮古市鳥獣被害防止計画に処理加工施設の取組を記載しており、議会も当局も一致した事業と思う。

皆様の御賛同をお願いする。

▼修正案に賛成者討論

木村 誠 議員

ジビエ処理加工施設の建設については反対をするものではなく、事業内容を含めこれまで一切の説明が行われていない中、3月10日に初めて産業建設常任委員会の場にて説明が行われた。その際に傍聴をしている議員の人数を見ると、この事業を議決するにあたり、議員間での理解が深められているのか疑問に思い、後日、議員全員協議会での説明を開くよう求めたが、説明する動きがみられなかったことから、討論が足りないかと判断したことが理由である。

▼原案に賛成者討論

畠山 智章 議員

ジビエ施設の建設について委員会でも説明があったように、1、有害鳥獣による農作物、森林被害の減少2、最終処分場における埋却費用の減3、ニホンジカ等の有害鳥獣をジビエとして活用することで新たな産業に結びつけるなど、地域資源を最大限に有効活用することが示されている。

また、産業としての費用対効果、公益性も望める計画として期待ができる。ジビエ施設の建設は宮古市の発展に不可欠な事業であり住民の生活向上にも寄与すると思われるため、原案に賛成である。

賛否一覧表

令和7年3月定例会議 「○」=賛成者、「×」=反対者、「退」=退席者、「欠」=欠席者、「除」=除斥、「―」=議長（採決に加わらない）

| 議員名<br>(議席番号順) |                  | 1      | 2     | 3     | 4     | 5     | 6    | 7     | 8    | 9     | 10   | 11    | 12    | 13   | 14   | 15    | 16     | 17    | 18    | 19    | 20   | 21    | 22    | 採決方法 | 議決結果 |
|----------------|------------------|--------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|-------|------|------|-------|--------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|------|
|                |                  | 佐々木 真琴 | 畠山 智章 | 水木 高志 | 山崎 高広 | 佐藤 和美 | 古館 博 | 中嶋 勝司 | 今村 正 | 白石 雅一 | 木村 誠 | 西村 昭二 | 小島 直也 | 鳥居 晋 | 伊藤 清 | 高橋 秀正 | 工藤 小百合 | 長門 孝則 | 落合 久三 | 松本 尚美 | 田中 尚 | 竹花 邦彦 | 橋本 久夫 |      |      |
| 議案番号           | 議案名              |        |       |       |       |       |      |       |      |       |      |       |       |      |      |       |        |       |       |       |      |       |       |      |      |
| 議案第1号          | 令和7年度宮古市一般会計予算   | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ×    | ○     | ×    | ○     | ×    | ○     | ○     | ○    | ○    | ○     | ×      | ×     | ×     | ○     | ×    | ○     | ―     | システム | 可決   |
| 修正案            | 議案第1号 予算に対する修正動議 | ×      | ×     | ×     | ×     | ×     | ○    | ×     | ○    | ×     | ○    | ×     | ×     | ×    | ×    | ×     | ○      | ○     | ○     | ×     | ○    | ×     | ―     | システム | 否決   |

※採決方法欄の「システム」とは、表決システムによる採決（議員の賛否が議場で明らかになる）

令和6年度  
一般会計・特別会計補正予算を可決

道路施設等長寿命化修繕事業の増額及び  
施設介護サービス給付費の増額など決める！

年度末の3月定例会議に提案された補正予算は、各種事業の実績見込み額が示されて、その結果最終的な補正額は減額となっています。なお、下の表には、補正額が増額になったものの中から主な事業を掲載しました。

令和6年度宮古市一般会計予算は、既に可決している歳入・歳出に18億6,593万9千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ398億2,794万5千円となります。

【令和6年度】今回補正の主な事業（一般会計）

| 事業名           | 補正前の額      | 事業内容                                              |
|---------------|------------|---------------------------------------------------|
|               | 補正額        |                                                   |
|               | 補正後の額      |                                                   |
| 施設型給付費等支給事業   | 9億6,352万円  | 私立保育所入所児童委託事業・施設型給付費給付事業の二つの事業における公定価格の増額改定による増額。 |
|               | 7,440万円    |                                                   |
|               | 10億3,792万円 |                                                   |
| 保育所等運営事業      | 8億9,033万円  | 保育所指定管理料（津軽石保育所・花輪保育所）公定価格の増額改定に伴う指定管理料の増額。       |
|               | 895万円      |                                                   |
|               | 8億9,929万円  |                                                   |
| 道路施設等長寿命化修繕事業 | 1億2,215万円  | 老朽化した橋梁・トンネル等を計画的に改修し長寿命化を図る。国庫支出金の追加交付による増額。     |
|               | 1,400万円    |                                                   |
|               | 1億3,615万円  |                                                   |
| 崎山松月線道路改良事業   | 1億6,568万円  | 事業の進捗を図るための道路改良事業との調整により事業費を増額するもの。               |
|               | 258万円      |                                                   |
|               | 1億6,827万円  |                                                   |

※表中の予算額は、1万円未満の端数を切り捨て処理したものです。

# 予算特別委員会報告

## 令和7年度 予算審査



### 一般会計・歳出

#### 【総務】

##### ■広報事務

**問** 田老三王団地ギャップフリー監視装置修繕料の内容はどのようなものか。

**答** 三王団地が山を切り崩して造成した団地であり、難視聴部分がある。団地内全域のテレビ視聴を良好な状況に保つための監視装置を設置している。現在運用しているFOMA回線のサービスが、2026年3月に終了することとで新しい回線への切替え工事に伴うものである。



山を切り崩して造成した田老三王団地

##### ■地域振興事業

**問** 元気な地域づくり補助金の内容は。

**答** 昨年度までの地域創造基金事業補助金に代わるものである。「地域活力の創出に資する取組み」「地域活動担い手育成」「地域課題の解決に資する取組み」という三本の柱に基づきタイプIとして、担い手育成、チャレンジ枠となる少額枠の20万円を上限としたもの。タイプIIとして、昨年度までの地域創造基金事業をほぼ踏襲した上限120万円の二つの補助メニューである。

##### ■男女共同参画推進事業

**問** 男女共同参画に関する講座の実施とあるが、どのような内容のものか。

**答** 例年実施しているハローワークとの共催事業である「就業支援」或いは、県との共催事業

業にも取り組むこととしている。また男女共同参画の計画も7年度実施する。

#### 【民生・衛生】

##### ■敬老事業

**問** 昨年度から各地域、地区において敬老会の開催が行われてきているが、今後各地域、地区に対する補助・助成の実施等の考えはないか。

**答** 現在の開催助成1人当たり650円を補助しているが、増額等の検討はない。

##### ■介護通院助成事業

**問** 要介護3以上の在宅高齢者の通院にかかる交通費を助成し、健康保持と負担の軽減を図るとあるが、この事業は、介護保険事業ではないか。

**答** 介護通院助成券交付事業としてタクシー券の助成を行っている。介護保険事業の中での補助メニューがないため、一般会計の民生費で行っているものである。

##### ■こども誰でも通園制度（乳児等通園支援）事業

**問** こども誰でも通園制度は、一時保育とどう違うのか。

**答** 国では、一時保育制度とこども誰でも通園制度を分けて考

ば、一時保育は一時的に何かの都合でこどもを預かってもらう制度であり、こども誰でも通園制度は、こどもの成長のために通ってもらうという考え方である。

##### ■青少年健全育成事業

**問** 専任少年委員の配置（1人）とあり、311万円計上とあるが、どのような方が配置されているか。

**答** 会計年度任用職員として生活課に配置し、少年センターの活動支援、企画等を行っている。

##### ■家庭児童相談事業

**問** 宮古市こども条例を令和2年に制定し、令和3年より施行になっているが、こども条例の考え方をどのように児童福祉事業の中に取り入れ、落とし込んでいるか。

**答** こどもを地域でどう育てていくか、こどもは地域の宝であるというところで、市の果すべき役割や関係者の役割を定め、どう育てていくかという理念的な条例ととらえている。家庭児童相談事業については、その考えに基づいて業務にあたっている。

##### ■清掃一般

**問** 物価高騰、燃油高騰がある中で委託料の不足に対応した緊

急対策的な支援が必要と思うが。

**答** 委託料に関しては契約時に決め、契約の際に状況を鑑みて金額を修正している。

##### ■医療情報連携基盤推進事業

**問** サーモンケアネット廃止の方向で、清算業務に対し、予算がついているが、具体的なスケジュールは何か。

**答** 医療情報連携基盤推進事業、ケアネットの廃止は、今年度協議会の方で廃止を決定し貸出している機器の撤去を行い、12月までには解散したい方向で考えている。

##### ■保健衛生総務費

**問** 成人健康診査事業で長年の懸念となる受診率をあげていくことをどのように検討しているか。

**答** 試験的に予約制による健診実施を検討する。

#### 【産業】

##### ■津波遺構施設管理事業

**問** 津波遺構施設エレベーター等修繕費155万円とは、どのような修繕内容を行うのか。

**答** 降雨時に段差の関係で入口の一部に水溜りができるのでその部分の修繕と、エレベーターの中の換気のために換気用ファンを取り付けるものである。



津波遺構たろう観光ホテル

##### ■インバウンド観光対策事業

**問** 地域通訳案内士研修業務委託に92万3千円とあるが、業務委託の内容はどのようなものか。

**答** 地域通訳案内士の制度化に向け、講師の派遣、講習会の会場の使用料、テキスト類の印刷製本などである。

#### 【土木】

##### ■津軽石パーキングエリアトイレ清掃業務委託

**問** 新設する三陸沿岸道路のパーキングエリアのトイレの清掃業務は。

**答** 市で管理する。地元自治会に依頼する予定。

##### ■公園管理事業

**問** 「長沢川桜づつみライトアップ事業委託」を計画しているが期間は。また、桜の木の手入れはできているか。

**答** 桜の名所を盛り上げる目的で、4月10日から2週間の予定で試験的に取り組む。岩手県による長沢川の環境整備も終了し、田鎖自治会と協力しながら盛り上げたい。

##### ■浸水対策事業

**問** 災害時の排水ポンプ車購入費用として、6490万円の計上だが、納車の予定はいつか。

**答** 8月中になるように調整している。なお、納車前の万が一の災害対応は、市内の建設業協会と契約を交わして、協力を得られるように万全を期す。

##### ■公営住宅管理事務

**問** 独居老人が増えている状況下、社会的孤立などの観点から、住民の見守りが必要だ。公営住宅管理の業務はどのようなことか。

**答** 管理会社は月に一回程度住宅を見回り、住宅の様子を確認している。住人に関係する様々な問題については、それぞれの団地内の管理人を通じて情報を得ている。

##### ■宮古港利用促進事業補助金

**問** 客船寄港時の人の流れのリサーチ業務はどこがやっているか。観光客の総数や流れを把握することがその後の計画に重要と考えるがどうか。



部活動地域移行推進実働チーム「kadatte」の取り組み

済状況に合っていない。

**答** 岩手県の旅館組合で、大会などの補助金の額を設定しているが、最近の値上げの情報を把握して検討したい。

##### ■野外活動センター活用事業

**問** ツリークライマー人材育成事業費が計上されているが、資格取得された方を登録して、市民が把握できるようにした方がよいと思うがどうか。

**答** 安全性の確保が必要な場合は、実施団体として登録してもらうように働きかける。

## 一般会計・歳入

## ■地方交付税の増加について

**問** 令和7年度の地方交付税(特別交付税)が14億5000万円と前年度比約4億円増えている理由は。

**答** 地方バス路線維持や空き家対策費用が交付税の対象となったこと、震災関連の固定資産税減収分が特別交付税で補填されると見込んでいるため。

## ■固定資産税について

**問** 令和7年度の固定資産税が26億9415万3000円と、前年より約4593万円減少している要因は何か。

**答** 「主な要因は建物の評価額の減少である。近年、新築棟数が減少傾向(震災前の約半分)にあり、特に令和6年度は評価替えの影響で既存家屋の減価が想定以上に進んだため。また、償却資産の減少も影響しており、地域内の企業の設備投資が鈍化していることが背景にある。

## ■ふるさと納税について

**問** 令和7年度のふるさと納税が前年に比べ約8億6000万円減少している要因は。

**答** 物価高の影響により、寄附者のニーズが高級品から日常品へとシフトしていることや、主力となっている返礼品(牛タンなど)の競争が全国的に激化し、シェアが減少していることから。



解体工事が行われる旧キャトル店舗

## ■旧キャトル解体事業に関する歳入

**問** 旧キャトル店舗解体に伴う国庫補助金の予算計上状況と、国からの歳入の時期は。

**答** 解体工事は令和7年度から令和8年度にかけて実施予定で、国からの補助金は「エリア価値向上整備事業」の枠組みで交付される。補助対象となる事業費は4億9444万円で、その50%に当たる2億4722万円が補助され、補助金は2回に分けて交付。令和7年度に40%、令和8年度に60%が交付予定である。

## 教育民生常任委員会

議案第29号 宮古市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

**問** 今回の条例は、おおむね国のガイドラインをもとに作成されていると推測するが、先行している他市の事例を比べたうえで、市独自で特出している箇所があるか。

**答** 国の基準に従ってまずは進めてみようということで、国の基準に従う形の条例案となっている。

議案第32号 宮古市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

**問** 第16条第2号に管理栄養士が加わるのは、全国的に人的リソースの不足の課題があるからなのかと考えるが、市の現状を伺う。

**答** 市では、不足しているという現状はない。栄養士を経ずに管理栄養士の資格を取得できることに変更となったことに伴い、改正するものである。

議案第33号 宮古市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

**問** 改正の理由が、地域包括支援センターの職員配置基準の緩和とのことだが、どのような意図があるのか。

**答** 全国的にセンターの職員の人材確保が困難になっている状況を踏まえ、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の3職種の配置を原則としたうえで、地域全体で3職種が基準を満たしていればよいとの緩和が国によってなされたため、市の条例を改正しようとするものである。

**問** 改正によって、市の地域包括支援センターの職員の人員配置に増減が出てくるのか。

**答** 基準通り職員を配置しており、基準が緩和されても、今のところ変更の予定はない。

議案第53号 公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて(花輪保育所)

**問** 5年前に公設民営での運営をした当初は、保育士が足りないなどの問題があったようだが、5年

## 議案審査概要

今定例会議で各常任委員会に付託された議案の審査概要をお知らせします。

## 総務常任委員会

議案第47号 公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて(災害資料伝承館)

**問** 災害資料伝承館の関係で田老総合事務所に学芸員が配置されていると認識しているが、その学芸員と指定管理者との連携の在り方はどう考えているのか。

**答** 学芸員の役割は資料の収集や保管、分類、それから効果的な展示方法を考えるということなので、資料の展示や伝え方そのものを監修していくというような立場で活動していくことになる。

**問** 地域の方々が、災害資料伝承館の運営に関わっていくことを期待しているが、その検討結果はどうなっているのか。

**答** 体験談・経験談を語るということがよく伝わる手法の一つだと言われているので、その件に関しては地域の力を十分活用して運営するために、様々な団体や個人と協議をしているところである。

議案第50号 公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて(川井地域多目的集会施設)

**問** 川井地域の27の集会所のうち、公共施設再配置計画において統合や集約の対象となっている施設があるか。

**答** 集約や統合ではなく地域へ移管する計画となっている。地域で利用されることから、施設の設置目的に鑑み公益事業として位置付けたものである。

問やってみて、どのような評価を持っているか。

**答** 現在は、基準を満たす保育士を確保できて、運営している。

**問** この5年間で、子どもの数が減少している。定員数や指定管理の内容を見直す動きがあったと思うが。

**答** 利用定員は、現状の入所児童数に合わせて60人から45人に見直した。指定管理の運営の仕方に変更はない。

議案第60号 公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて(宮古運動公園)

**問** 募集期間が29日間と1か月ながいが、募集期間について定められているものがあるのか。

**答** 宮古市指定管理者制度運用指針の中で、募集期間を定めている。

## 産業建設常任委員会

議案第36号 宮古市工場等設置奨励条例の一部を改正する条例

**問** 特定遊休財産とは何か。  
**答** 普通財産のうち、工場に適した場所を認定するものである。具

体的には、旧川井西小学校、旧茂市小学校、旧和井内小学校の3か所を想定している。

**問** 廃校舎の3か所以外にもあるのか。

**答** 現時点の普通財産の中で、一定の面積、電気、形状といった諸条件等を考慮したときに、今、工場立地に適していると想定されるものは、廃校舎の3か所と考えている。これは現時点であるので、今後、増えれば、それを認定していく。

議案第37号 宮古市手数料条例の一部を改正する条例

**問** 宅地造成等規制法改正に伴って、県から権限移譲を受けていた宅地造成工事の許可等の事務が、権限移譲から外れたために、手数料を削除するという意味は、どういうことか。

**答** 旧宅地造成規制法が盛土規制法になったため、旧宅地造成規制法で権限委譲は、今回無くなる。そして、新法の盛土規制法に伴って、今度は別の権限移譲がおりてくる。それが、今回の改定で新たに追加するという内容になっている。

## 市政を問う



一般質問の内容を動画でご覧いただけます。

## 一般質問

## ここが聞きたい

松本尚美議員(無所属クラブ) …… (11)

- 令和7年度宮古市経営方針について
- 令和7年度教育行政方針について

鳥居晋議員(宮古創生会) …… (11)

- 漁業の振興策について

伊藤清議員(みやこ未来創造クラブ) …… (12)

- 鳥獣被害対策について
- 旧花輪保育所跡地利用について

畠山智章議員(みやこ未来推進クラブ) …… (12)

- 令和6年度宮古市経営方針の達成状況は
- 若者が定住し結婚を望めるまちづくりの政策が必要では
- 若い世代が本市に住み続けるための安定した仕事の確保とは

白石雅一議員(みやこ未来推進クラブ) …… (13)

- 夜間連系太陽光発電事業について
- 地域公共交通について
- 宮古市立保育所等適正配置計画について
- 重層的支援体制整備事業の考え方について

佐藤和美議員(みやこ未来創造クラブ) …… (13)

- 子育てと就労や社会参加の両立支援について
- 中学校の部活動の地域移行について

中嶋勝司議員(みやこ未来創造クラブ) …… (14)

- 子育て支援について
- 鮭ヶ崎灯台のフレネルレンズの価値について

小島直也議員(公明党) …… (14)

- 高齢者福祉について
- 宮古市教育行政方針について

工藤小百合議員(宮古創生会) …… (15)

- 地域産業の振興について
- 安全で快適な生活環境づくりについて
- 防災について

落合久三議員(日本共産党) …… (15)

- 重点施策である地域産業振興策、安定して働くことのできる宮古を目指して
- 主要施策の「健康でふれあいのある地域」で介護事業の困難の打開について
- 公共下水道管の老朽化に伴う道路陥没事故防止策について

田中尚議員(日本共産党) …… (16)

- 令和7年度宮古市経営方針の重点施策について
- 令和7年度宮古市経営方針の主要施策について

佐々木真琴議員(みやこ未来推進クラブ) …… (16)

- 学校教育のアウトソースについて
- 観光産業の多角的な利活用について
- 改変された宮古市ホームページの活用について

竹花邦彦議員(立憲・市民クラブ) …… (17)

- 令和7年度宮古市経営方針と重点施策について
- 山口保育所の廃止方針について
- 新規高卒者の管内就職率について

山崎高広議員(みやこ未来創造クラブ) …… (17)

- ブルーカーボンの取り組みについて
- 交通安全対策について

古舘博議員(宮古新生会) …… (18)

- ジビエ処理加工施設整備事業について

西村昭二議員(みやこ未来創造クラブ) …… (18)

- 地域産業の振興について
- 旧キャトルの解体について
- 市長の政治姿勢について

※質問項目は、一般質問通告によるものです。

## 宮古市議会の情報をリアルタイムで

## インターネット中継

本会議は生中継(ライブ配信)しています。録画中継は、本会議のおおむね5日後(土日祝を除く)から配信いたします。(パソコン、スマートフォン、タブレット端末に対応)

## Facebook

宮古市議会のトップページのリンクをクリックしてご覧ください。



宮古市議会  
Facebook

## みやこハーバーラジオ (82.6メガヘルツ)

定例会議開催中の午前8時10分頃からの放送です。

## 次回6月定例会議

5月中旬の開催予定です。会議日程が決まり次第、宮古市議会のホームページトップに掲載します。詳しくは議会事務局におたずねください。(☎68-9113)  
mail: gikai@city.miyako.iwate.jp



宮古市議会  
ホームページ

## 質問 選ばれる・魅力ある学校づくりを

## 答弁 教育環境の更なる充実を進める



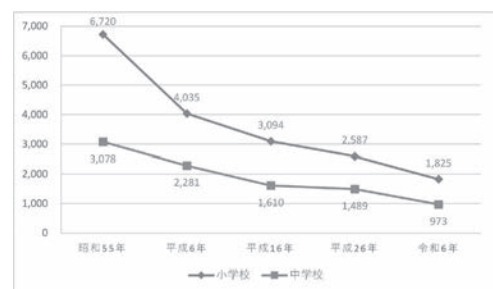
松本議員の  
一般質問動画  
はこちら

松本尚美 議員



■教育行政方針について  
伊藤教育長の新年度の方針を聞きながら、児童・生徒の急減する状況が脳裏をかすめ、宮古市の近未来、将来が夢と希望があるものか、次代を担う子供たちの、教育環境がこのまま良いのか、漠然としながらも強い不安に駆られた。学校の設置は市教育委員会が担うが、子供たちと直接向かい合う学校長、教職員は県職員でありま

中学校9年間で資質・能力を身に付けるよう中学校区で連携している。「特定の児童生徒」を対象にした指導ではなく、「すべての児童生徒」を対象にし、児童生徒が主体的に取り組む「絆づくり」を通して、子供たちはもちろんのこと、教職員も魅力を感じるような学校運営・学級運営を行うことが、本市の目指す教育につながると考えている。次代を担う子供たちが「宮古を引き継ぐ」と胸を張って言える市民に成長出来る「教育環境の更なる充実に向けた取り組み」を進める。



激減する児童・生徒数の推移

## 質問 漁業の振興策について

## 答弁 漁協や関係機関と連携し、検証していく



鳥居議員の  
一般質問動画  
はこちら

鳥居晋 議員



令和7年度の宮古市経営方針で、市長は「宮古トラウトサーモン等安定した水揚げが期待できる魚介類の増養殖など、つくり育てる漁業の取り組みを強化していく」と述べている。そこで次の点について伺う。  
①宮古トラウトサーモンの今後の生産目標は。  
②他漁協との競合差別化を図る上で、通年出荷への可能性も模索すべき。  
③ドナルドソンスチールヘッドばかりではなく、他のニジマスの発眼卵からの飼育養殖も模索すべき。  
④市内三漁協で休遊の鮭のふ化場の施設を利用したサクラマスの陸上養殖の考えはあるか。  
⑤サーモン養殖での大きな経費は電気代と餌代と聞く。管内の定置網で取れる大量のイワシ、サバ等を原料にした独自の餌の開発も考えるべき。

答 山本市長



宮古トラウトサーモンで水産業再生を！

は通年飼育が出来ない。  
③トラウトサーモン以外の発眼卵からの試験については、公の機関などの情報収集を行っていく。  
④さけ・ますふ化場での陸上養殖については、宮古漁協と重茂漁協が来年度にトラウトの中間育成についての調査・検証への取り組み準備を進めている。  
⑤現在与えている餌は、給餌効率に優れた環境にも優しい浮餌を使用している。独自の餌料の開発については、採算性を考えると今の餌料の使用が現実的と考え



伊藤議員の  
一般質問動画  
はこちら

伊藤 清 議員

## 質問 深刻化している鳥獣による被害への対策は

### 答弁 失行事例の紹介、整備手法の検討を関係機関と連携し、支援する

**問** 鳥獣対策について 鳥獣被害対策は、電気柵での侵入防止、銃や罠による捕獲で、被害軽減に努めているが鳥獣被害が減ることはない。最近は一ホンジカに加えイノシシ被害も増加傾向である。農作物や森林資源への鳥獣による被害が年を追うごとに深刻化している。農業への影響が大きく、地域経済にも深刻な打撃を与えている。クマに関しては住宅地への出没も増加し、市民生活に大きな不安を与えている。このようなこともあり効果的な鳥獣対策が求められることから次のことを伺う。

**答** 鳥獣が里に下りてこないよう、緩衝帯の整備が必要である。全国の実施事例、近隣市町村の事例を参考に取組むべきだがどうか。

**山本市長** 緩衝帯については、盛岡市の猪去地区の視察を行った。宮古市では希望する地域に先行事例の紹介、整備手法の検討を関係機関と連携し支援したい。有害実施隊の訓練施設を進んでいる。運営している猟友会会員も高齢化していることが課題である。射撃



クマ用箱わな

**問** 場を公共施設として引き継ぐことを検討してほしい。

**山本市長** 射撃場は技術向上に一定の役割を果たしている。広域での整備や運営について意見交換していく。

**問** 有害実施隊員の活動も物価高により経費倒れる隊員も見受けられる。報酬の見直しが必要だがどうか。

**山本市長** 他の自治体の状況を確認し検討する。

**問** 旧花輪保育所跡地利用について 震災以降、花輪・長沢地区へ住宅を再建する住民が増加し、子供たちも増加している。しかし、地域に子供たちの遊ぶ憩いの場が確保されていないのが現状である。旧花輪保育所跡地に遊具付きの公園整備を提案した経緯があるがどうなっているか。

**山本市長** 宮古市では総合計画に位置付けしている。財源の確保に努め整備内容については地元の意見を聞きながら進める。

## 質問 若者が定住し結婚を望めるまちづくりを

### 答弁 多角的な取り組みを進める

**問** 宮古市の経営方針の中に、「安定した仕事を持つ子どもを幸せに育てられるまちの実現に向け」とありますが、本市は色んな補助金等の支援が手厚いので、「子どもを幸せに育てられるまち」の前に、「定住し結婚を望めるまちづくり」が重要と捉えますが、市長の見解を伺います。

**山本市長** 若年世代を中心とした社会減抑制、出生数の引き上げによる自然減の抑制という両輪の施策を取り組みを進め、子育て支援の充実のほか、地域活力の創出や、安定した雇用と稼ぐ力の創出、教育期における愛着度醸成への取り組みなど、戦略に掲げる多角的な取り組みを着実に進める。

**問** 令和6年度宮古市経営方針の達成状況は 毎年3月定例会議において新年度の経営方針を発表し、本市の目指す政策の方向性を示して事業化などの取り組みを行ってまいりますが、令和6年において示した経営方針で事業化されたものや、成果が出た政策はどのようなものがあるのか。



若者が結婚を望めるまち

**山本市長** 重点項目の中から一つ目は地域脱炭素の実現と地域内経済循環の拡大に向けて夜間連系太陽光発電所の起工式を行った。二つ目は宮古市駅前再開発の準備と賑わいのある中心市街地の形成においては旧キャトルの店舗解体に向けた準備を整え、本年7月頃より解体工事を開始する見込みです。三つ目は地域産業の振興において、継続した取り組みを進めている途上である。引き続き、取り組みに対する評価・検証を適切に行いながら持続可能な街づくりを推進していく。

## 質問 経営方針の夜間連系太陽光発電事業関係の表現が昨年度と同じ理由は

### 答弁 市民ファンドを通じて理解関心が高まるよう積極的な周知に心がける

**問** 夜間連系太陽光発電事業について 経営方針では夜間連系太陽光発電所について「地元参加型の発電事業となるよう市民ファンドの準備を進めていく」とある。市民ファンド普及には配当以外にも事業の社会的価値などを伝える必要があるが、具体的な文章が昨年度と同じ内容なのはなぜか。

**山本市長** 本事業は先進的な取組として進められ、今年12月に商業運転開始を予定。市民ファンド総額は8千万円、利回り2%、運用期間5年を検討し、市民が参画しやすいよう進めていく。市としても市民ファンドを通じて、地産地消発電所としての理解醸成、地域脱炭素の関心が一層高まるよう事業者と連携し積極的な周知を行っていく。

**問** 画に基づき、安心、安全な保育環境の整備に努める」とある。しかし令和6年の出生数は155人と減少傾向であり、少子化は保育所の維持にも影響があると考える。令和7年度は平成29年度からの宮古市立保育所等適正配置計画の最終年度、今後の考え方は。

**山本市長** 保育所等の入所児童数は令和2年度の1435人に対して、令和6年度が1120人で5年間で約2割減少している。次期計画の策定では、出生数の減少や就学前児童数の推移、地域実情等を踏まえ、保育需要に応じた適切な保育所等の配置について改めて検討し見直しを図る。



白石議員の  
一般質問動画  
はこちら

白石 雅一 議員

**問** 「地域脱炭素の実現と地域内経済循環の拡大」の実現には市民と共に取組むことが極めて重要、今後とも市民皆様のご理解ご協力を頂きながら進める。

**山本市長** 宮古市立保育所等適正配置計画について 経営方針では保育所等について「宮古市立保育所等適正配置計画



12月運用開始予定の田老地区の  
夜間連系太陽光発電

## 質問 出産後もキャリアを継続できる多様な働き方と企業支援を

### 答弁 関係機関と連携し、事業者と子育て中の女性を支援

**問** 子育てと就労や社会参加の両立支援について 第一子出産後の就業率は増加傾向にあるものの、依然として約3人に1人の女性が妊娠・出産を機に退職しています。子どもの病気や行事等で休みやすい環境を支援する制度の一つとして、「柔軟な働き方選択制度等支援コース」があり、仕事と育児の両立を積極的にサポートする企業を応援する仕組みがあります。

**山本市長** 女性が出産後もキャリアを継続できるよう、多様な働き方に向けた環境整備と企業への支援が必要と考え、市長の見解を伺います。

**問** 働きやすい職場環境の整備は、人材確保や定着の観点からも事業者・就業者双方にとって重要で、この制度の内容や相談窓口については、宮古商工会議所と連携し、事業主に周知を進めていきます。

**山本市長** 中学校の部活動の地域移行について 令和7年度宮古市教育行政方針では、中学校の部活動の地域移行について、学校・地域・競技団体と連携して取り組む方針が示されました。少子化の

**山本市長** 重点項目の中から一つ目は地域脱炭素の実現と地域内経済循環の拡大に向けて夜間連系太陽光発電所の起工式を行った。二つ目は宮古市駅前再開発の準備と賑わいのある中心市街地の形成においては旧キャトルの店舗解体に向けた準備を整え、本年7月頃より解体工事を開始する見込みです。三つ目は地域産業の振興において、継続した取り組みを進めている途上である。引き続き、取り組みに対する評価・検証を適切に行いながら持続可能な街づくりを推進していく。

**伊藤教育長** 令和5年度から実証事業を行い、参加生徒は仲間と活動する喜びやスポーツの楽しさを実感し、指導者は指導法を学びながら連携を深めました。

**伊藤教育長** 児童生徒及び指導者の安全対策は。

**伊藤教育長** 指導は各競技団体の指導者に依頼し、万が一の怪我に備え傷害保険に加入しています。

**伊藤教育長** 地域移行後の部活動の運営形態は。

**伊藤教育長** 現在、実証事業を通じて運営形態を検討中です。地域で持続可能な部活動体制を構築するため、学校・地域・競技団体と連携して取り組みます。



佐藤議員の  
一般質問動画  
はこちら

佐藤 和美 議員

**問** 令和7年度宮古市教育行政方針では、中学校の部活動の地域移行について、学校・地域・競技団体と連携して取り組む方針が示されました。少子化の

**山本市長** 重点項目の中から一つ目は地域脱炭素の実現と地域内経済循環の拡大に向けて夜間連系太陽光発電所の起工式を行った。二つ目は宮古市駅前再開発の準備と賑わいのある中心市街地の形成においては旧キャトルの店舗解体に向けた準備を整え、本年7月頃より解体工事を開始する見込みです。三つ目は地域産業の振興において、継続した取り組みを進めている途上である。引き続き、取り組みに対する評価・検証を適切に行いながら持続可能な街づくりを推進していく。

**伊藤教育長** 令和5年度から実証事業を行い、参加生徒は仲間と活動する喜びやスポーツの楽しさを実感し、指導者は指導法を学びながら連携を深めました。

**伊藤教育長** 児童生徒及び指導者の安全対策は。

**伊藤教育長** 指導は各競技団体の指導者に依頼し、万が一の怪我に備え傷害保険に加入しています。

**伊藤教育長** 地域移行後の部活動の運営形態は。

**伊藤教育長** 現在、実証事業を通じて運営形態を検討中です。地域で持続可能な部活動体制を構築するため、学校・地域・競技団体と連携して取り組みます。



中嶋議員の  
一般質問動画  
はこちら

中嶋 勝司 議員

## 質問 第2子以降の出産祝い金制度導入へ

答弁 現在、制度の導入は考えていない

**問** 経営方針の中に『次代を担うひとを育てる』とある。その中で『結婚・出産・子育ての希望を叶える』ことを掲げ、子供が産まれてから大学卒業までの子育て環境は、他の自治体の先をいく施策に取り組んでいる。しかし、結果として全国トップクラスの子育て政策でも出生数の減少に歯止めが効いていない。数年後には年間出生人数が100人を下回ることも想像できる。持続可能なまちづくりのための少子化対策として、現在の子育て支援策に所得制限を設け、財源の確保を行い、第2子以降の出産祝い金制度の導入が必要だと思ふが。

**答** 山本市長 過去5年間の出生数は令和2年から、265人、248人、204人、216人、令和6年は155人と年々減少している。県内では大船渡、八幡平市で出産祝い金を導入しているが、久慈、一関、陸前高田市では出生数の増加が認められず、令和4年に廃止している。市としては、現在の子育て支援策には所得制限は設けず引き続き実施し、出産祝い金については、他自治体の状況か



安心してこどもを産み育てられるまちを

**問** 現在、このところ制度の導入予定はない。

**答** 伊藤教育長 1902年に初点灯され、国の登録有形文化財で日本の灯台50選に認定されている。この灯台のフルネルレンズはハロゲン電球を使用しているが、LEDと一体のレンズに切り替わる。海の道しるべとしての役目を終えたレンズを、今は陸上から市民の道しるべとし、新たな役割を担う存在とし保存していくべきだろうか。

**答** 伊藤教育長 灯台の歴史、文化的価値を広く知ってもらう必要がある。伝承するにふさわしい場所、効果的な展示方法について関係機関と連携を進めていく。

## 質問 超高齢社会を乗り越える施策について

答弁 認知症を正しく理解し、市民の社会参加の機会確保が大切

**問** 新しい認知症観を周知して、みんなの暮らしを守る。単身世帯や二人世帯が増えており、地域の人が支え合うことが必要だ。認知症でありながらも、社会参加を目指して、地域に貢献したい市民が多くいると思う。そういう人々たちをまとめる役割を持つ地域包括支援センターの職員は充足しているか。

**答** 山本市長 各支援センターには国の基準通り、保健師、社会福祉士、介護支援専門員を配置している。認知症の人やその家族を見守り、支援する側の市民を増やすことにより、市全体で認知症にやさしい地域づくりを進める。

**問** 市民の暮らしは多様化、複雑化して抱える悩みや課題が多い。様々な悩みに柔軟に寄り添う体制はあるのか。

**答** 山本市長 新年度より重層的な支援体制コーディネーターがその情報を取りまとめ、関係機関による支援会議を開催して、社会的孤立を防止する。



皆で支え合い 幸福な人生を

**問** 宮古ならではのアイデアに溢れた教育はないか。クルーズ船の寄港を利用した国際交流を行い、児童生徒の国際感覚の醸成に資する機会を創出し、生徒の英語力向上に結び付けるべきだ。

**答** 山本市長 国際交流は全ての教育に通ずる活動と認識している。昨年は外国人観光客を中学校に招き、伝統芸能の発表や、文化交流をした。英会話の機会にも恵まれた。今後も各学校の教育活動の確実な実施を進めていく中で、クルーズ船の寄港を学習の場に取り入れていく。

## 質問 地域産業の振興について

答弁 水産業の担い手に様々な活動を行っている

**問** 地域産業の振興について ①宮古市内の中学校への水産業の魅力を伝える出前授業は今まで何回開催しているのか。 ②市は、県と共催で、盛岡市内中学校への出前授業を行っているがそこに至った経緯と、水産業の魅力が伝えた水産のまち宮古をどのような形で広く情報を発信し、興味を持たせる市の計画、展開は。

**答** 山本市長 ③市外から宮古水産高校に入学した高校生に、市では下宿補助を行なっている。補助の上限の見直しと、他の支援があるのか。

**答** 山本市長 ①昨年度は5回開催 ②水産業の担い手確保に向け、市内3漁協、宮古水産振興センター、宮古市で宮古市漁業就業者育成協議会を組織し様々な活動をしている。県外の中学校向けに、今年度から取り組んでいる「地域みらい留学」により全国の中学校にPR、3名が合格。

**問** 山本市長 横断歩道設置については、警察署、道路管理者等の関係機関と協議し、所管する警察署に要望する。現地を確認、利用者の安全、安心を第一に考える必要な対策を講じる。

**問** 山本市長 起こりうる災害に対して、井戸の活用は。

**答** 山本市長 今後「災害時地下水利用ガイドライン」の決定を受けて、災害用井戸の登録と活用を検討していく。



工藤議員の  
一般質問動画  
はこちら

工藤 小百合 議員

**問** 安全で快適な生活環境づくりについて

**答** 工藤 小百合 ③下宿やパンションなど、施設により入居費に差があり支援の見直しを検討。家賃以外補助の、効果的な支援を検討していく。



実習船「りあす丸」

## 質問 物価高騰の下、支援策を総動員して

答弁 状況を注視し事業所支援を推進

**問** 省エネ・蓄エネに伴う住宅・店舗改修への助成継続と住宅リフォーム助成制度の復活、耐震診断に基づく改修工事を強力に図るべきだ。消費喚起のためプレミアム商品券の実施、国に対し社会保険料事業主負担の軽減、インボイス廃止を要請すべきだ。さらに「安定して働ける場」を創出するため企業立地受入れ態勢、工業用地確保を継続的に追及すべきだがどうか。

**答** 山本市長 この間、省エネ・蓄エネの店舗改修や住宅リフォーム、耐震住宅改修などを行ってきた。また子育て世帯と高齢者世帯への地域商品券発行に取り組んでいる。全国市長会では社会保険料事業主負担軽減やインボイス廃止は要請していない。新年度から財団法人「日本立地センター会員」となり情報収集を強化する。さらに「企業立地フェア2025」に出席し、庁内各部署を始め関係機関と連携する。

**問** 市内の下水道管の総延長と平均耐用年数、40年経過はどれくらいか、さらに下水道管調査と更新に係る費用と国の補助はいくらか。

**答** 山本市長 市内17事業所を調査をした。報酬引下げの影響は「大いにある」が64%、「ある」21%。経営状況は令和4、5年度は赤字、6年度も赤字見通しと回答している。引続き経営状況を把握し対応を検討する。



落合議員の  
一般質問動画  
はこちら

落合 久三 議員

**問** 介護報酬引き下げによる倒産は全国で172件、訪問介護事業所

**答** 山本市長 基金活用で訪問介護事業所支援を



訪問介護の要はヘルパーさん



田中議員の  
一般質問動画  
はこちら

田中 尚 議員

**問** 産業振興にも直結する「地域脱炭素の実現と地域内経済循環の拡大」は重要な分野と理解する。田老地区に整備中の夜間連系太陽光発電所は蓄電池を併設、昼夜を問わず電力供給が可能な施設というが、12月稼働へ採算性に懸念がある事が、その後示された。増設する太陽光発電の発電量などの根拠は何に基づくものか。

**答** 山本市長

同設備は、メーカー公表の発電能力に、「国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構」が公表する当該地の日照データから総発電量を算出。年間265万kWh、これに売電単価16・4円を乗じて算出。収益の分配時期が事業開始から22年目以降となるものの30年の事業期間では、総額で1億3500万円が匿名組合出資者へ、配当される見込みとなっている。

**問** 地元参加型の発電事業へ、市民ファンドの準備を進めるとあるが、その担保は事業の採算性にある。ファンドの位置づけや規模等について伺う。

**答** 山本市長

ファンドは田老発電



既存の田老地区太陽光発電設備

合同会社だが、その収益を市民に還元し、市民と共に進めたい思っている。市もファンドを通じ、地産地消発電所として理解醸成、地域脱炭素へ関心が高まるよう、積極的な周知を行う。規模等は現在、総額8千万円、利回り2%、期間5年で検討され市民が参画しやすい内容となるよう連携して進める。

**問** ソーラーシェアリング（SS）は今後、成長が期待される分野と言われるが、農業者の理解が十分でない。耕作放棄地の解消も脱炭素効果も見込める事業へ、市の理解と今後の対応を伺う。

**答** 山本市長

今後、営農スタイルの一つとして、農業者にSSに関する情報提供や、事業計画の相談に応じて行く。

## 再エネで地域内経済循環の拡大を

**答** 総額 1 億 3 5 0 0 万円配当の見込み

## 市長の物価高騰経済対策の基本姿勢と市内事業所の現状認識を問う

**答** 厳しい状況と認識。業況把握に努め必要な支援策を検討

**問** プレミアム商品券の発行を市長は第2重点施策に「地域産業の振興」を掲げたが、市内事業者の現状をどう認識しているか。物価高騰による市民生活の圧迫と購買力低下は、事業者の売上げ減少につながっている。この状況打開に向け、プレミアム商品券を発行すべきと考えるがどうか。

**答** 山本市長

今もなお市内事業者は厳しい状況と認識する。業況を把握し必要な支援策の検討を行う。プレミアム商品券については、現在子育て世帯と高齢者世帯の生活支援を目的に「地域商品券」発行の取組みを進めている。

**問** 「次代を担うひとを育てる」の施策意図は

**答** 市長は、令和7年度の重点施策の第1に「次代を担うひとを育てる」を掲げた。その意図、目標等は何か。また、充実・強化を図ろうとする人づくり施策は何か。

**答** 山本市長

未来へ継承していく「ひと」を育てることが、まちづくりにとって重要である。令和7年度から新制度として「元氣な地域づくり補助



依然として厳しい状況にある市内事業所

金」を創設する。賑わいやイベント等住民主体の取組みを支援し、地域コミュニティの新たな担い手を育成する。

**問** 唐突な山口保育所の廃止方針について

**答** 山本市長

説明会では方針変更の経緯、公設公営での整備の可能性等の質問や、唐突な方針変更への指摘も受けている。今後も、丁寧に説明し、理解いただくよう努める。

## 学校教育の地域連携を進めるためには

**答** 地域と連携し、実例実情を踏まえた運営を



佐々木議員の  
一般質問動画  
はこちら

佐々木 真琴 議員

**問** 学校教育のアウトソースの現状は

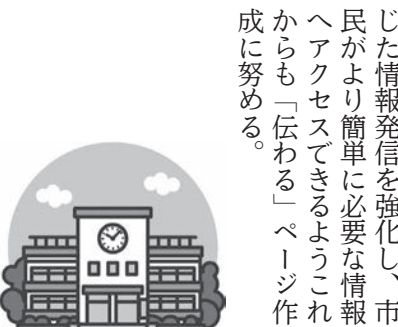
**答** 伊藤教育長

宮古市では、全ての中学校学区で学校運営協議会を設けており、校長を中心に地域と協働しながら、地域資源の活用を進めている。今後も、協議会の中で学校と地域の連携強化を進めていく。

**問** 子どもが家族・先生以外の大人と出会う機会には重要な。地域防災部・まちづくり部・商品開発部などの文化的な活動の地域移行も検討してはどうか。

**答** 伊藤教育長

提案の部活は地域と関わり、愛着を深める部活動として有効であると考え。運動の部活動に加え、学校や地域と協力しながら、今後の方針を検討していく。



**問** 観光産業の多角的な利活用は

**答** 山本市長

次年度、産業振興部が商工労働観光部と農林水産部に分かれるが、観光の広がりや考えると部門間の連携強化が必要だ。観光関係予算の最適配分や、イベントの目的整理を進める。

**問** 特に検索機能の使い

**答** 山本市長

広報紙やSNSを通じた情報発信を強化し、市民がより簡単に必要な情報へアクセスできるようにこれからも「伝わる」ページ作成に努める。

**問** 大きく変更された部

**答** 山本市長

新しいホームページの利便性向上を図るため、市民向けの周知を進めている。広報でも告知している。

**問** 市ホームページ変更後の

**答** 山本市長

活用状況は大きく変更された部分を市民に周知するべきではないか。

## ブルーカーボンへの取り組みについて

**答** 地球温暖化対策と海の豊かさを保全する有効な活動

**問** ブルーカーボンへの取り組みについて

**答** 山本市長

海洋由来の炭素吸収であるブルーカーボンへの注目度が世界中で高まっています。重茂・田老町漁協においては、ブルーカーボンの一環として注目され、気候変動対策や持続可能な水産物の観点から重要視される海藻養殖が盛んで、ブルーカーボンへの取り組みと密接な関係にあります。市として、今後のブルーカーボンへの取り組みをどのように考えているのか、各漁協との連携はどうなっているのか伺う。

**問** ブルーカーボンとは

**答** 山本市長

海藻などの海の植物によって海中や海底に吸収・埋没された二酸化炭素で、この取り組みは、地球温暖化対策と海の豊かさを保全することが同時にでき、非常に有効な活動である。

現在、市も含めた関係者と勉強会を始めたところである。

重茂漁業協同組合の取り組みを参考に、今後、市内の他の漁業協同組合についても取り組みを進めていく。



養殖こんぶ種を設置した様子

**問** 交通安全対策について

**答** 山本市長

「通学路の信号機のない横断歩道の安全対策」については、宮古市交通安全計画に基づき、関係団体と合同点検を行い、安全確保に取り組んでいます。

通学路の横断歩道の状況について改めて確認し、「横断者注意喚起灯」などの設置も含め、対策を進めていく。



古館 博 議員

## 質問 ジビエ施設整備事業、被害を受ける市民 おざなりにすることではないか

答弁 農作物被害の低減に寄与するものであり  
市民をおざなりにするものではない

**問** ジビエ処理加工施設整備事業は、公設民営で進められ営利目的の施設ととらえる。指定管理の委託方式は考えられない、賃貸方式と考えるが。

**答** 山本市長  
ジビエの加工や販売に精通した事業者が利用することを想定し、賃貸方式の運営を考えている。

**問** 民間の加工施設における廃棄物は、産業廃棄物扱いとなる。この施設で生じる廃棄物は、公設事業所扱いを適用し事業所系ごみとして処理されるのか。

**答** 山本市長  
ジビエ処理加工施設の運営者は、本市の鳥獣被害防止対策の役割を担う。施設から排出されるごみは、事業所系の一般廃棄物として処理できる。

**問** 本事業計画の説明もないまま進められることは不安を覚える。民間事業者へ求める要件の内容を示されたい。

**答** 山本市長  
民間事業者が事業を行うための基本的な要件は、食肉処理業及び食肉販売業の許可を有すること。また、本施設は消費者に安心・安全なジビエ肉を提供できるよう、農林水産省の国産ジ

ビエ認証を取得する予定である。

**問** 国産ジビエ認証にあたっては、厚生労働省の「野生鳥獣肉の衛生管理に関する指針」や「ハサップの考え方を取り入れた衛生管理」を実施できる事業である必要がある。

**問** 今後、本市では大規模事業が予想され、厳しさを増す財政のかかわりを含め、早急な施設整備は拙速する必要があるか。

**答** 山本市長  
農作物被害の減少による農業振興、商品のブランド化、交流人口の拡大雇用の創出、地域活性化に寄与する。令和9年度の事業開始を目指す。



住宅地に出没するシカ

## 質問 ジビエ施設整備は湯ったり館敷 地に早期実現を

答弁 令和8年度『リバーパークに  
いさと』へ整備



西村 昭二 議員

**問** ジビエ施設の整備が具体化され、新年度予算に実施設計費用が提案された。鳥獣の受け入れ、地理的条件、鳥獣の生息域などを考慮すると、新里地域の「湯ったり館」が適地だと考える。建設予定地・時期を伺う。

**答** 山本市長  
湯ったり館でのジビエ肉提供・体験ツアーなどの相乗効果も期待できると。『リバーパークにいさと』の敷地内に令和8年度に整備工事を行う。

**問** 昨年同様「事業の継続と雇用の確保」を基本とした事業者支援を行なっているが、市内事業者の破産・倒産・大型店舗の撤退が相次いでいる。この現状の評価と、新年度、市内事業者への支援策を伺う。

**答** 山本市長  
宮古市商業振興対策事業費補助金、事業者等省エネルギー対策推進事業などの支援を行った。誘致企業の新規工場立地、既存企業の増設があり雇用拡大した。新年度も同様の支援を継続し事業の継続と雇用の確保に努める。

**問** 海水温上昇により、トラウトサーモン海面養殖に危機感を覚える。通年出荷できるトラウト陸上養殖の可能性や現在取り組み

んでいるウニの陸上養殖の成果と評価を伺う。

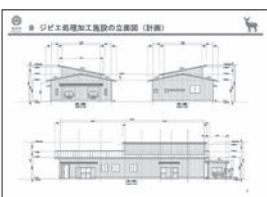
**答** 山本市長  
トラウトサーモンの陸上養殖は、整備費・ランニングコスト・採算性確保が課題だ。田老町漁協で実施したウニの陸上養殖調査で72%が実入りの良い結果が出た。令和7年度は重茂漁協が実施するため機材の準備をしている。

**問** 旧キャトル解体工事は市内業者に限定できないか。

**答** 山本市長  
市内業者での応札が可能。入札参加資格は市内業者として資格者名簿に登録されている者とする。

**問** 山本市長は次期市長選挙に出馬し、再度、市民の期待の声に応え、市民と共にまちづくりをする意思があるのか。

**答** 山本市長  
若い世代も育っている。次の世代へバトンタッチしたいと考えていることから次期市長選挙へは出馬しない。



ジビエ処理加工施設の  
立面図（計画）

## 01 宮古地区広域市町村 議会連携会議研修会

1月27日、宮古地区広域市町村議会連携会議研修会が開催され、沿岸広域振興局副局長の植野歩未氏に講演いただきました。

本研修では、少子高齢化や地域医療、産業振興に関する幅広いテーマについて学びと意見交換が行われました。

冒頭では、知事が毎年、年始の仕事始めを沿岸部で行っているというエピソードも共有され、県の沿岸地域への思いを感じる時間となりました。

研修の中では、急速に進む人口構造の変化についての現状が示されました。

特に、団塊の世代が75歳に突入し、高齢者人口が一気に増加する局面を迎えていること、さらに2050年には高齢者人口が生産年齢人口を上回るといふ予測が示され、地域としての備えが必要であると再認識しました。一方で、日本における65歳以上の労働参加率が高い現状については、「良いこと」なのか「金銭的な余裕がないための選択」なのか、その背景も含めて丁寧に捉えていく必要があるという指摘がありました。

教育分野では、就職のために進学する生徒が多く、進学率は7割を超えているというデータが共有され、早期から地域外へと進路が決まってくる構造についても考える必要性が示されました。

また、管内（広域圏）全体での就学人口も減少傾向にあり、4市町村の小学1年生の合計が485人となった

現在、小中学校の再編も進められている状況も紹介されました。

産業政策の視点では、県による広域サイクリングロード整備の動きや、地産地消・外訪地消・地産外消といった多角的な地域経済循環の考え方、また管内各地域の得意分野を活かした補完的な連携によるGDP向上の仕組みづくりなどが示され、今後の地域経済活性化に向けたヒントを得る機会となりました。

また、二拠点居住やふるさと住民制度、デジタル住民制度といった柔軟な住民登録のあり方についても、定住・関係人口の拡大に向けた新しいアプローチの可能性が示されました。

他にも、地域医療の継続的な確保として、宮古病院の産婦人科の維持など、市としても県と連携し出産や子育て環境の整備に引き続き注力していく必要性もあることを感じた研修でした。



編集後記  
き お  
に お  
編集委員  
木村 誠

本年2月に発生した大船渡市の大規模林野火災により、未だ不便な生活をされています方々へお見舞いを申しあげるとともに、昼夜を問わず消火活動に従事された方々へ深く感謝いたします。

東日本大震災から14年が経過し震災を経験していない世代が増えていくなか、6月に「宮古市災害資料伝承館」が開館いたします。この施設は、あの日ここ起きた事や災害時の備えを学ぶことを目的としており、東日本大震災だけでなく、過去に本市を襲った多くの自然災害についての教訓を得ることができる大切な施設ですので、一人でも多くの方々に訪れてほしいと願っています。

また、近年は「備えあれば憂いなし」では対応できない事柄が多く起こっていますので、市民の皆様には「憂いあれば備えあり」の気持ちも合わせて持っていただきたいと思います。

### 議会広報編集委員会

委員長 今村 正  
副委員長 畠山 智章  
編集委員 佐々木 真琴  
古館 博  
木村 直  
小島 也

# みんなの らうんじ

本市では、地域の安全と暮らしを守るため、橋梁の長寿命化修繕計画を策定し、計画的な維持管理を進めています。これは、橋が壊れる前に補修を行うことで、大きな工事や費用を抑えながら、安全を長く保っていくための取り組みです。高度経済成長期に多くの橋が造られた本市では、今後一斉に老朽化が進むことが予想されており、点検と優先順位に基づく「予防的な補修」が重要になっています。令和7年度には、市内7か所の橋で補修工事が予定されています。その中の一つ、小国地区の湯沢橋を訪ね、地域の方にお話をお聞きました。



小国地区の赤岩さん

—この橋について教えてください。

**赤岩** この橋は、地域ではお寺橋と呼ぶんです。すぐそばに大圓寺というお寺があって、その前を通る道なので、みんなそう呼んでいますよ。

—普段から多くの人が通る橋ですか？

**赤岩** もちろんです。車も人も、地域の人みんなここを使っています。生活に欠かせない橋ですね。

—片側だけ特に傷んで



いるように見えましたか？

**赤岩** これは昔、拡張工事をして、片側だけ新しくなったんです。もう一方は当時のままなので、そっちが特に傷んできているんです。



—こうした橋の長寿命化の取り組みについて、どう感じますか？

**赤岩** ありがたいですね。やっぱり、地域の実情もちゃんと見てもらいながら、こうやって手を入れてもらえるのは心強いです。長く使うには、やっぱり日ごろの手入れが欠かせませんから。

一つひとつの橋を守っていく。未来の安心な暮らしを支えるための静かな営みです。将来にわたって安心して通れる道を守る。未来につなぐ。ことでもあります。市内各地で進むこの取り組みが、地域の暮らしをしっかりと支えています。宮古市では、橋が痛まないように、土砂や落ち葉雑草などを取り除く「橋の歯磨き」を住民の皆さんと一緒に進めています。ぜひ注目してみてください。

| 橋梁名    | 地域区分 |
|--------|------|
| 野中函渠橋  | 田 老  |
| 石崎こ線橋  | 宮 古  |
| 湯沢橋    | 川 井  |
| 十三仏一の橋 | 宮 古  |
| 畠沢下橋   | 川 井  |
| 大館橋    | 田 老  |
| 観音橋    | 宮 古  |

令和7年度に補修予定の橋梁